

リハビリテーション部

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	1 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	1 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	2 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	1 人	
研修医	1 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	9 人	
その他（技術補佐員等）	11 人	
合計	26 人	

2 教員の異動状況

美津島 隆（病院教授）（H13.1.1~H15.10.31 助手、H15.11.1~H24.5.31 准教授、H26.6.1~現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	6 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	15.77	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Effects of home-based interval walking training on thigh muscle strength capacity in female total hip arthroplasty patients:A randomized pilot study.Morishima Y, Mizushima T, Ymauchi K, Morikawa M, Masuki S, Nose H. PloS one 2014. [3.234]
 2. Effects of Synchronization between Cardiac and Locomotor Rhythms on Oxygen Pulse during Walking. Takeuchi S, Nishida Y, Mizushima T, J Sports Sci Med. 2014 Dec; 13(4): 881–887. 2014. [1.025]
 3. Hindlimb venous distention evokes a pressor reflex in decerebrated rats. Yamauchi K, Stone AJ, Kaufman MP Physiol Rep. 2014 Jun 6;2(6)
 4. Increased dietary salt intake enhances the exercise pressor reflex. Yamauchi K, Tsuchimochi H, Stone AJ, Stocker SD, Kaufman MP Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2014 Feb;306(3):H450-4.[3.838]
インパクトファクターの小計 [8.097]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Effects of peripheral and spinal κ -opioid receptor stimulation on the exercise pressor reflex in decerebrate rats. Copp SW1, Stone AJ,Yamauchi K, Kaufman MP ,Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2015 Jul 1;309(1):H166-73. [3.838]
2. Purinergic 2X receptors play a role in evoking the exercise pressor reflex in rats with peripheral artery insufficiency. Stone AJ, Yamauchi K, Kaufman MP Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2014 Feb;306(3):H396-404. [3.838]

インパクトファクターの小計 [7.676]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 廃用症候群の病態とリハビリテーション 美津島隆 国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌 (2188-3416)35 回 Page4-7 2014.4

インパクトファクターの小計 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
 - 1. 蜂須賀研二 骨折 服部リハビリテーション技術全書 医学書院 東京 2014

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0 件	(0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	1 件	(80 万円)

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	1 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	5 件
(6) 一般演題発表数	3 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Masaaki Nagashima, Kazunari Enishi, Ryo Kondo, Naoki Katayama, Hiroshi Irisawa, Tetsuyuki Nagafusa, Takashi Mizushima Cardiorespiratory Fitness in Subacute Polymyositis/Dermatomyositis Patients and Healthy Controls ACRM 91th Annual Conference (Toronto, Canada)
2. Tetsuya Sano , Tamako Miyamae EFFECTIVE TRAINING METHOD FOR EXCHANGING DOMINANT HAND OF CHOPSTICK MANIPULATION- From the Viewpoints of Cerebral Blood Flow, Difficulty Level and Performance -第 16 回 世界作業療法士連盟大会・第 48 回 日本作業療法学会(横浜)
3. Ryo Kondo, Mizue Suzuki, Masaaki, Nagashima, Hiroshi Irisawa, Katsuya Yamauchi, Takashi Mizushima Effects of dynamic-intensive exercise for burden in caregivers of chronic stroke patients-A pilot randomised controlled trial- ACRM 91th Annual Conference (Toronto, Canada)

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名

日本リハビリテーション学会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

日本リハビリテーション学会 代議員

日本脊髄障害医学会 評議員

日本義肢装具学会 評議員

日本障害者スポーツ学会 監事

日本リハビリテーションネットワーク研究会 理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. Journal of Orthopaedic Science (1 回)
2. Autonomic Neuroscience (1 回)

9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道